

玉造駅(JR環状線)

宰相・真田幸村と博物学・木村蒹葭堂を訪ねて

玉造駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.131

JR・地下鉄玉造駅

①三光神社

古代、このあたりから東は河内湾という海に面し、ここには姫山神社があって一帯は姫の松原と呼ばれていました。また、この地に大坂の陣で真田幸村が出城・真田丸を造って徳川軍と交戦しました。境内には真田幸村の銅像とともに「真田の抜け穴」と呼ばれる遺構があります。ここが三光神社と呼ばれるようになったのは、宮城県仙台市の三光宮を勧請して中風封じの神様として有名になった明治のころです。この山は、宰相山とも真田山とも呼ばれています。



②旧真田山陸軍墓地

明治4年(1871)に兵部省が設置したわが国で最初の陸軍墓地です。西南戦争から日清・日露戦争の兵士、そして第一次世界大戦で捕虜となったドイツ兵の墓碑まで、近代日本の戦争と軍の貴重な歴史遺産です。現在は国から委託されて大阪市が管理しています。

③伝長寺

江戸時代中期の人気読み物『絵本太閤記』の作者・武内確斎の墓があります。『絵本太閤記』は7編84冊に及びましたが、豊臣家の人気が高まることを警戒した幕府によって廃版にされました。

④大応寺

木村蒹葭堂ひんかどうの墓があります。本名は吉右衛門。文人、画家、本草学者、蔵書家、コレクターで江戸時代の大坂が誇る世界的な博物学者。あらゆるものに精通し、『蒹葭堂日記』には延べ9万人もの交友が記されています。莫大な蔵書は幕命で昌平坂学問所に納められ、現在は内閣文庫に引き継がれています。いまでも全貌が解明されていないそうです。

⑤心眼寺(真田丸跡碑)

真田幸村父子の冥福を祈って建てられました。門扉には真田家の家紋・六文銭が刻まれています。真田幸村は実名・信繫。元禄期の小説『真田三代記』に天才宰相として登場し、それを受けた大正期の立川文庫『猿飛佐助』に真田十勇士が描かれてベストセラーになりました。



⑥善福寺

大坂夏の陣の戦死者を弔うために建てられました。大塩平八郎の乱を鎮圧して、その功績で老中になった大坂城代・土井利位が深く帰依したといわれています。浄瑠璃『傾城阿波鳴門』で、実の娘と出会いながら親だと打ち明けられない名場面の舞台として有名になりました。

JR・地下鉄玉造駅

